

# = 中村英子メール =



- ★粘り強く「名古屋市との合併を」目指します。
- ★「地域福祉センター（民間）を設置します。
- ★議会での私の役割り
- ★31年度予算から

日に日に明るくなる日差しの中で、桜の開花を心待ちにするとき私たちは本当に幸せな気分になります。

過日、小学校の卒業式に出席しました。卒業する子どもたちはみな、父母、祖父母などからとても大切に慈しみ育てられている感じがして、健全な成長の喜びを共有できるひとときでした。

しかし反面、今の時代は子どもにとって受難な時代でもあることも考えずにはいられません。幼い頃から競争社会に晒されており、またデジタル機器の発達は負の影響も子どもたちに与えています。

連日のように報道される子ども同志のいじめや自殺、親の深刻な虐待など、信じられない痛ましい出来事があっても、それを未然に防ぐこともできず、又、普通の家庭には関係のないことと言い切ることもできず、ただただ悲しいだけです。

せめて私たちは、周りの子どもたちに声をかけたり、温かい見守りの目を持って接したいと思います。

すべての子どもたちの未来が明るいものでありますように。

4月には引き続き力を尽くして頑張ってまいりますので、みな様の温かいご支援をよろしくお願い致します。



「英子メール」 2019年 3月

蟹江町議会議員 中村英子

TEL 96-1056

# 行政サービスを高めるための取組みとして

## ——粘り強く合併を目指します——

「名古屋市と合併して、何か良いことあるの？」と聞かれました。

町民のほとんどが政令指定都市である名古屋市の行政サービスの内容が国内でもトップに近いものであることを知りません。

ご承知のとおり日本には政令指定都市という制度があり、国や県から特別な財源や権限を与えられ、市街地の基盤整備や住民への行政サービスを、他の市町に比べ充実・発展させているのです。

そのため、当然政令指定都市と他の市町との間には、様々な格差が生じています。

同じ町に長く生活していると、そのような格差に気づくこともありませんが、町長や議会議員はその違いを知って

います。

蟹江町の財政力では、とても名古屋市と同じ行政サービスをすることができない、ということも知っています。

町民が行政格差を知らずにいるのも無理のないことです。町長や議員の仕事は、常に町民への行政サービスを向上させることであり、そのため、あらゆる可能性を模索していくことです。

また、小さな町の方が大都市より、きめ細やかな対応ができると思われていますが、現実はそのうちではありません。

母子家庭や貧困者、障害のある方など、特に支援を必要としている方々への対応は政令市の方がいき届いています。小さな町では、対象者の数

が少なくコストがかかりすぎるため専門の窓口を置いたり、センターを設置して対応したりすることができません。障害のある方々は、身を持ってその違いを実感しています。

**永久に再開発が  
できない！**

旧本町地区や舟入地区など、いまだに、救急車や消防車などが入れない路地が多くあります。

空家が増え商店がなくなり高齢者は日々の買物もできなくなってきました。

何とかこれに手を付け、再開発をしていかなければなりません。町の財政では、永久に手が付けられないでしょう。

名古屋市になれば、いずれは再開発されると思われませんが、蟹江町のままでは無理なことです。

すぐ近くまで整備されている近鉄線の高架もできません。このような現実を多くの町民に知っていただき、町の将来を真剣に考えていただきたいと思っています。

もちろん 政令指定都市であっても、完璧な行政ができるわけでもなく、常に課題はありますが、人口が減少し、財政がさらに厳しくなる時代では、町の将来を見据え、より良い選択をしていくことが大切です。





# さらに地域に貢献してまいります

これまでの議員としての経験を活かし、温かい地域社会を創るため、人と人をつなぐ地域活動をしていきます。

その拠点として「<sup>※</sup>地域福祉ステーション」を設置します。

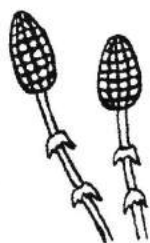
子どもから高齢者までを対象に、ちよつと困ったことがあって、「どうしよう?」と悩んでいる人と、いつも何か人のお役に立ちたいと思っている人をつなぎ、「お互いさまでつながらる、助け合いのできる町を創ります。

小さなお困り事でも、その人にとっては重大で、問題によってはパニックになることもあります。

若者から高齢者まで一人住まいが多くなり、なかなか自分だけでは解決できない問題を抱えることもあります。

小さなお子さんを育てている母子家庭でも社会的な助けが必要とされています。

悩みはそれぞれですが、その解決のために、少しでもお役に立てれば幸いです。



## ★議会での私の役割り★

現在14名の議員がいます。

その多くが地元出身で女性は私が1人です。地元出身が多いことは当然で、悪いことではありませんが、活発な議論より人間関係が優先され、町長とのお友達議会になっているように思えてなりません。

又、自営業で兼職している議員が多数で、彼らの考え方は似ていてワン・セグみたい。多様な意見が反映されにくい状況です。

そんな中であって厳しく税金の違い方をチェックし、是々非々を貫きます。

さらに女性や若者、社会的弱者の目線でこらからも全力を尽くしてまいります。

※ 「地域福祉ステーション」は、役所が設置する公けの施設ではなく、住民同志の「助け合いの仕組み作り」を中心として活動し、行政では対応できない日常的な困り事に対し、柔軟に対応していくところ です。楽しく交流もします。町内の誰もが参加でき、誰もが利用することができます。





## 31年度予算から

### ●風疹の抗体検査と予防接種を無料で実施

対象者 年齢39歳～56歳までの男性 2022年3月31日まで

### ●「子育て世代包括支援センター」を開設

保健センター内に整備し、地域の福祉・医療関係機関との連絡調整を行いながら妊産婦及び乳幼児等に包括的な支援を提供していくことになっています。

### ●プレママサロン開催事業

NPOへ委託し、月1～2回プレママサロンや産後ケアサロンを開催し、出産前後の交流の場をつくります。

### ●10月からの消費税増税に伴い国は幼児教育無償化を実施

### ●中学生の英検3級受験(3800円)に対し2000円を補助

(予算40万円)

### ●「権利擁護・成年後見センター」の開設に向けて地域3市町が協議

### ●町政施行130周年記念事業

2019年が町政130年に当たり町民まつりの中でセレモニーなど記念事業を行います。又(株)サンリオと連携しさまざまなプロモーションをします。

(予算830万円)

### ●男女共同参画事業として

あいち国際映画祭のサテライト会場として女性監督作品を上映します。

(予算40万円)

### ●近鉄蟹江駅北側を整備

2か年計画で整備(本年度予算8400万円・30年度5680万円)

### ●東京圏から当町に移住して定住した人には移住支援金を支給

2人以上世帯の場合100万円 単身者60万円(50歳以下)  
(東京一極集中を緩和したい国の政策で実施・町の負担は25万円と15万円)

### ●地域猫対策・飼い主のいない猫の避妊・去勢に補助

避妊には8000円、去勢には5000円を補助します。(予算39万円)

### ●JR蟹江駅橋上駅舎整備

(本年度予算6億9200万円・30年度5億3600万円)

(事業総額 約27億円)